



▲子どもたちの大好きな「ふわふわドーム」

# 町民の願

笑顔輝く子ども  
みんなでつくる夢  
“広野町”

## 【要望書】

平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う、大津波により当町沿岸部が壊滅的な被害を受けました。さらに、東京電力（株）福島第一、第二原子力発電所において発生した原子力災害のため、全町民が福島第一原子力発電所から30km圏外に避難して6ヶ月が経過し、町民は体力的、精神的にも限界にきているところです。

つきましては、下記の事項について、国の責任において早急に対処するよう強く要望します。

記

- 1 福島第一原子力発電所事故を一刻も早く収束させること。
- 2 町民が安心して生活ができるよう国の責任において、町内全域を福島第一原子力発電所事故前の放射線空間染量に近づけるため、徹底した除染を行うこと。
- 3 原子力政策は国策であることから国の全責任によって、特別立法の制定によって対処すること。  
また、被災者の生活支援に迅速かつ、きめ細かに対処するため、当面の緊急措置として、災害復旧支援対象事業と支給額の大幅な拡充と弾力的な運用、さらには、全額国庫負担とすること。
- 4 原子力災害に対する補償については、東京電力（株）はもとより、国の責任において全額補償すること。
- 5 放射線被害（風評被害含む）に対しては、直接、間接を問わず、すべてのものに対して国の責任において全額補償すること。
- 6 町内の各地点に新たにモニタリングポストを設置し、放射線量に関するリアルタイムのデータを表示するとともに、各家庭に線量計を配布するなど、生活空間において放射線量を町民が把握できる環境の整備をすること。
- 7 雇用の場の確保と福島県民の放射線による健康管理を行うため財団法人国立がん研究センター分院を当町に設置すること。
- 8 双葉郡内住民の雇用の場の確保のため、新エネルギー（太陽光、風力）機器製作工場を当町に誘致すること。

### 【要望書提出先】

内閣総理大臣  
野田佳彦  
総務、沖縄、北方担当  
大臣 川端達夫  
農林水産大臣  
鹿野道彦  
経済産業大臣  
枝野幸男  
環境、原発担当大臣  
細野豪志  
復興対策担当、防災大臣  
平野達男  
文部科学大臣  
中川正春  
外務大臣 玄葉光一郎  
民主党幹事長 輿石東  
官房長官 藤村修  
東日本大震災復興対策  
特別委員長 増子輝彦  
東日本大震災復興対策  
本部福島現地本部長  
吉田泉  
福島県選出衆議院議員、  
参議院議員  
東京電力(株)取締役社長  
西澤俊夫